

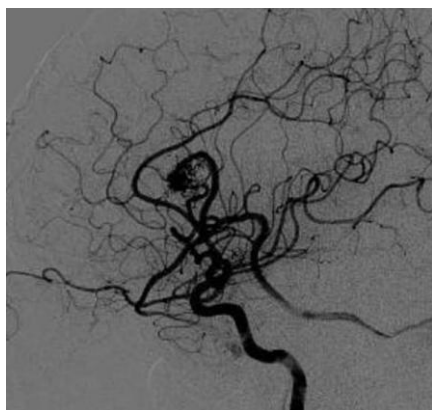
脳動静脈奇形について

脳動静脈奇形は出血発症により重篤な後遺症を残す疾患です。動静脈奇形は、栄養動脈、血管塊(ナイダス)、流出静脈により構成されます。手術的摘出術や加療の難度は、動静脈奇形の大きさ 3cm 未満、3~6cm、6cm 以上で分類され、さらに動静脈奇形の位置、流出静脈の部位により Spetzler & Martin (S&M) Grade として分類されます。

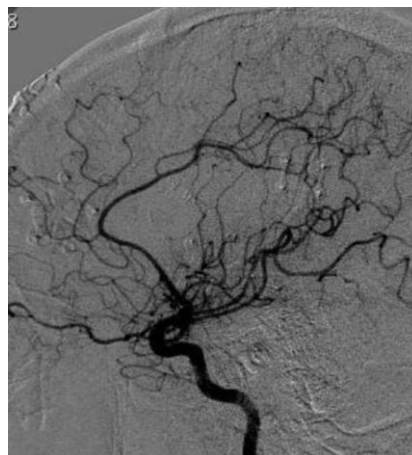
一般的には、S&M Grade I,II は手術単独での摘出術が考慮されます。S&M Grade III 以上では、手術、血管内治療、放射線治療を組み合わせる治療を検討します。

1. 脳動静脈奇形塞栓術

2. 脳動静脈奇形摘出術

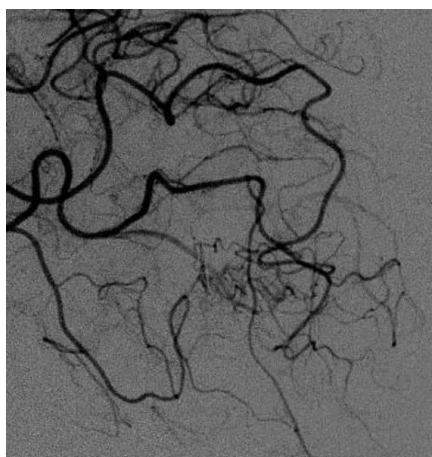


摘出前

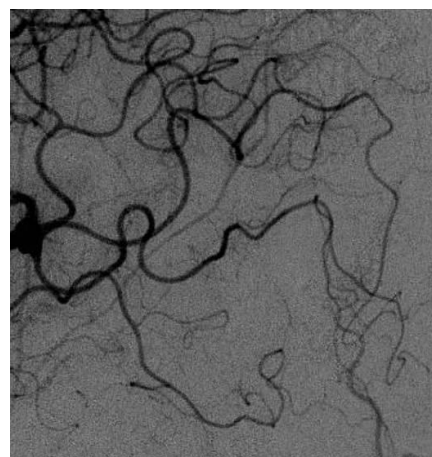


摘出後

3. 脳動静脈奇形摘出術



摘出前



摘出後